

**蔵原惟人** 評論家。<昭和恐慌>期に、プロレタリア文学・芸術の作品と運動の先頭に立って、空前の高揚に導いた。

くらはらこれひと

教科書疑獄・1902 = 東京麻布で次男に生れる。母は北里柴三郎の妹。

**日露戦争終**・1905 = 3歳：

大逆事件判決1911 = **9歳**：

**明治天皇没**・1912 = 10歳：

大暴落・・・1920 = **18歳**：

**原敬首相暗殺**1921 = 19歳：

**関東大震災**・1923 = 21歳：\_東京外語露語科在学中に第3次{ロシア文学}を創刊。  
\_卒業すると、

治安維持法・1925 = 23歳：\_{{都新聞}特派員としてソ連に赴き、ロシア文学とともにマルクス主義理論を学んで、  
日本時代始・1926 = 24歳：\_帰国、まもなく日本プロレタリア芸術連盟に参加し、{芸戦線}同人となって評論家として活動、  
金融恐慌・1927 = 25歳：\_「現代日本文学と無産階級」等の評論で注目される。

共産党事件・1928 = 26歳：\_\*中野重治らと共産党支持の芸術組織{ナップ(全日本無産者芸術連盟)}を結成、この組織を中心にプロレタリア文学・芸術が作品面でも運動面でも空前の高揚に向かうなか、その先頭に立つ。

**世界恐慌**・1929 = **27歳**：\_「芸術と無産階級」。\_非合法下の{日本共産党}に入党して地下活動。  
\_作品制作におけるプロレタリア・リアリズムと政治的前衛の観点という主張は、小林多喜二ら多くのプロレタリア作家に影響を与え、その文学・芸術運動を共産主義文学・芸術運動に導く。

**満州事変**・1931 = 29歳：\_\*「芸術的方法についての感想」等は国際プロレタリア文学運動のなかで出色の評論。  
五一五事件・1932 = 30歳：\_「プロレタリアートと文化の問題」。\_共産党の政治主義により運動が孤立し崩壊するのも主導して、入獄。

\_非転向を貫き、

**日中戦争始**・1937 = 35歳：

健保+総動員 1938 = **36歳**：

大政翼賛会・1940 = 38歳：\_肺結核のため出獄。

**日米開戦**・1941 = 39歳：

**敗戦**・・・1945 = 43歳：\_\*<敗戦>直後から、{日本共産党}の再建に努めるとともに、{新日本文学会}の結成など組織化に尽力、

新憲法施行・1947 = **45歳**：

三大事件・・・1949 = 47歳：入獄中の書簡集「芸術書簡」を刊行、

**独立回復**・1951 = 49歳：

\_以後、中央委員・文化部長・中央委員会常任幹部会委員として活動する間、多くの著作を成し、

国連加盟・・・1956 = **54歳**：

**安保闘争**・1960 = 58歳：「文学芸術論」全2巻が刊行され、

大学紛争始・1965 = **63歳**：

いざなぎ景気1966 = 64歳：\_「蔵原惟人評論集」が刊行開始、

**大阪万博**・1970 = 68歳：\_\*全10巻が完結した後も、なお長寿を保って、

**石油ショック**1973 = 71歳：

角栄金脈辞任1974 = **72歳**：

ディズニーランド 1983 = **81歳**：

**ソ連崩壊**・1991 = 89歳：\_没した。

「この人どんな人」、平凡社百科事典、